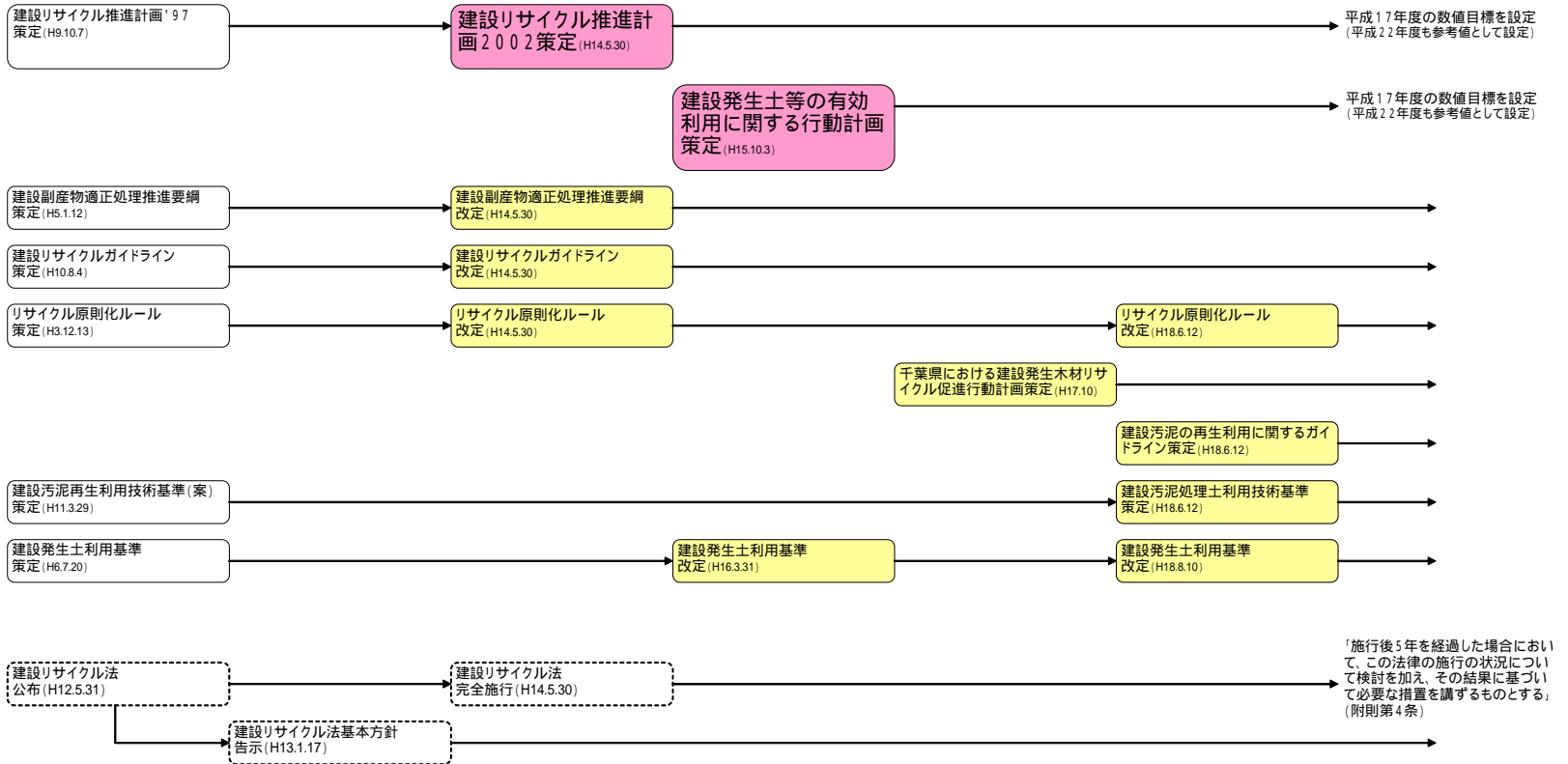


建設リサイクル推進施策検討小委員会 の設置について

平成19年3月
国土交通省

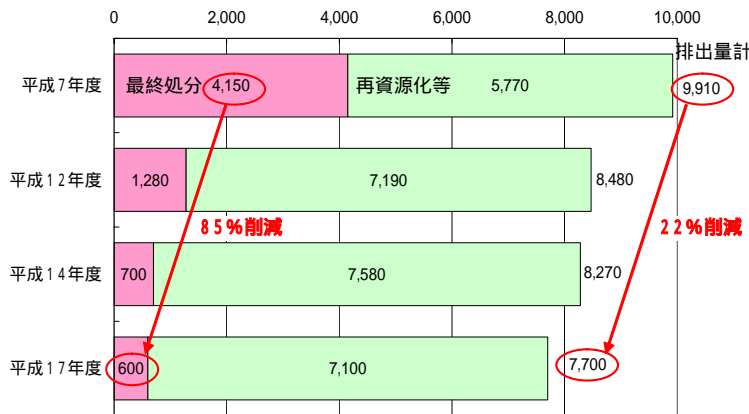
小委員会の配布資料、議事録については、
国土交通省の建設リサイクルHPに掲載されています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/index.htm>

「建設リサイクル推進計画2002」(平成14年5月策定)、「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」(平成15年10月策定)は、いずれも平成17年度の目標値を設定している。

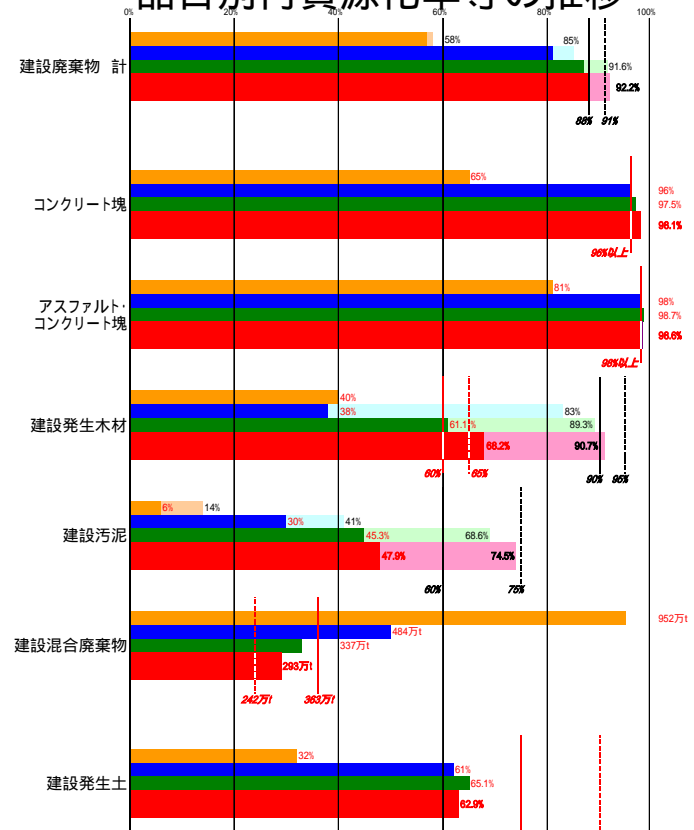


平成17年度建設副産物実態調査結果を見ると、建設リサイクルは着実に進展しており、建設発生土以外の品目については目標値を達成している。ただし、品目毎のばらつきが依然として大きく、また、最終処分量の大幅削減に比較すると排出量の削減は十分とは言えない。

排出量、最終処分量等の推移

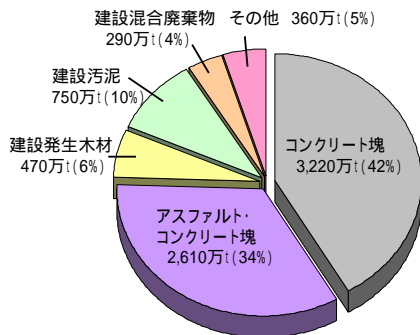


品目別再資源化率等の推移

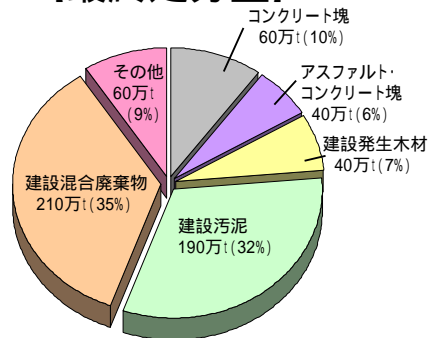


品目別排出量、最終処分量 (平成17年度)

【排出量】

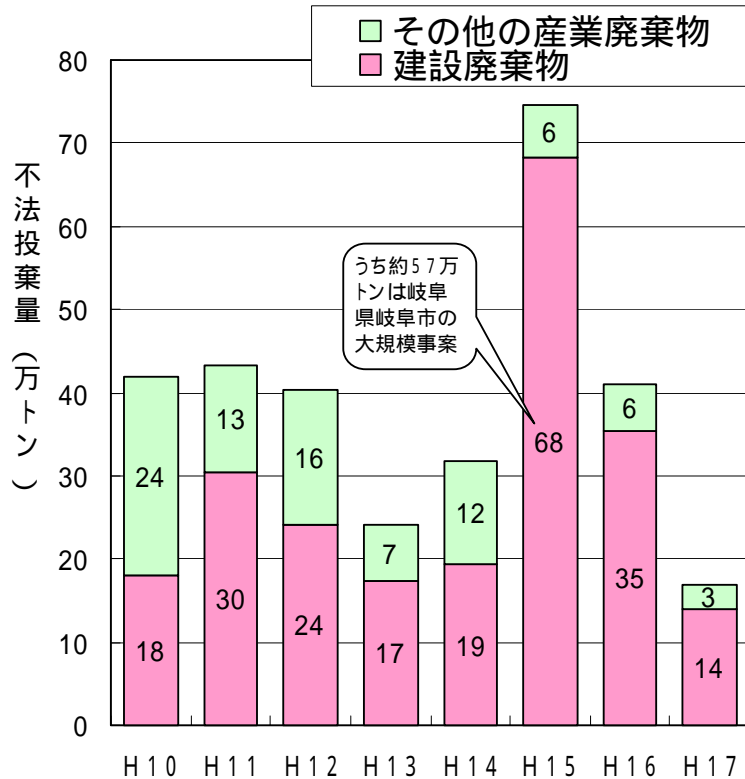


【最終処分量】

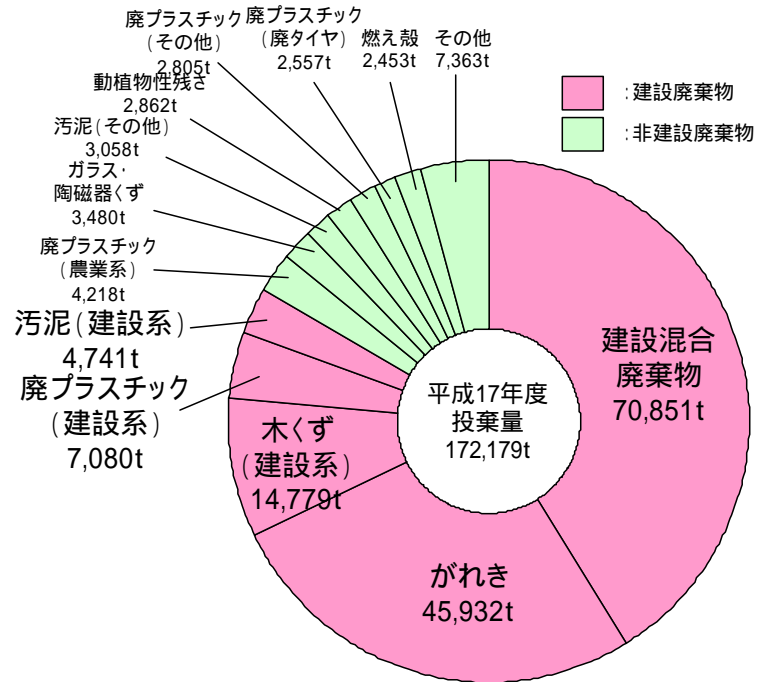


■ 平成7年度 ■ 平成12年度 ■ 平成14年度 ■ 平成17年度
 再資源化率: 建設混合廃棄物は排出量、建設発生土は有効利用率、それ以外は再資源化率
 (赤字: 再資源化率、黒字: 再資源化等率)
 建設発生土の平成17年度は、現場内利用を含まない率である。

建設廃棄物の不法投棄は、産業廃棄物全体の8～9割を占めており、依然として全国各地で深刻な問題。

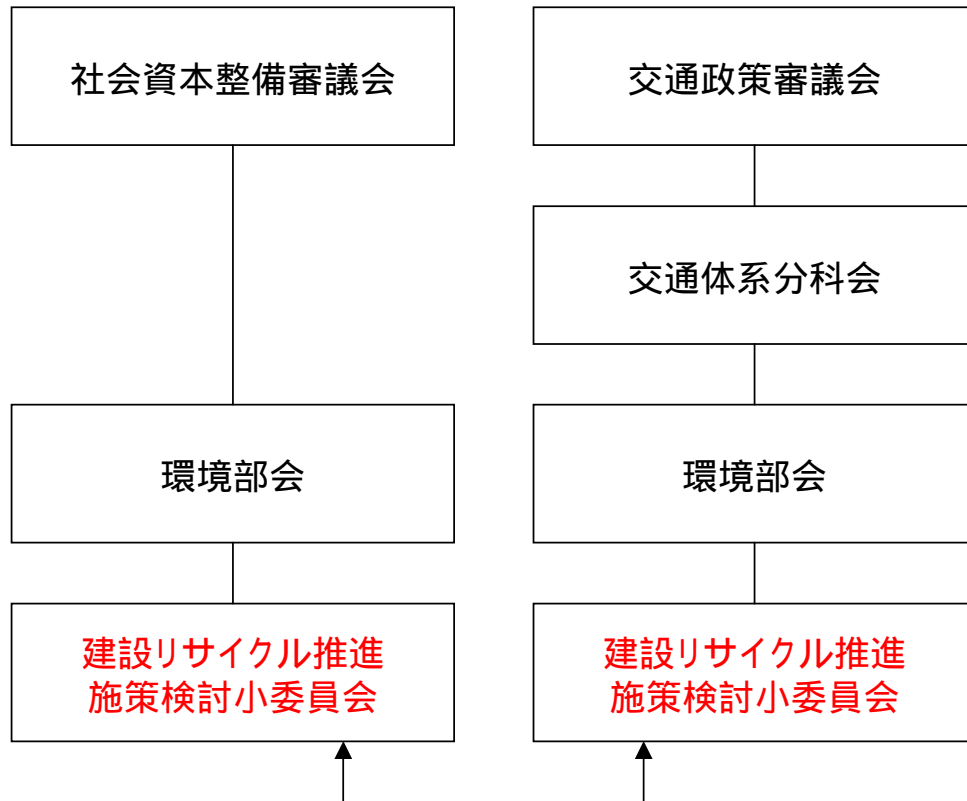


産業廃棄物の不法投棄量の推移 (環境省調査)



平成17年度に新たに発覚した産業廃棄物の品目別不法投棄量 (環境省調査)

新たな建設リサイクル推進計画の策定を視野に入れ、建設リサイクルや建設副産物の適正処理等を推進するための方策を検討するため、社会資本整備審議会・交通政策審議会それぞれの下部組織として「建設リサイクル推進施策検討小委員会」を設置したところ。



メンバーは同一、原則として合同開催

(黒字は既存のもの、赤字は今回設置するもの)

建設リサイクル推進施策検討小委員会メンバー

委員長	嘉門雅史	京都大学大学院地球環境学堂長
委員長代理	古市徹	北海道大学大学院工学研究科教授
委員	石田東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
	出野政雄	(社)全国解体工事業団体連合会 専務理事
	大塚直	早稲田大学法学部教授
	後藤敏彦	環境監査研究会代表幹事
	崎田裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
	佐藤泉	弁護士
	杉山涼子	環境・廃棄物コンサルタント
	高戸章	(社)全国建設業協会 環境委員会委員
	平田耕一	(社)日本建材・住宅設備産業協会 3R推進委員会委員
	細田衛士	慶應義塾大学経済学部教授
	三本守	(社)全国産業廃棄物連合会 理事
	村上泰司	(社)住宅生産団体連合会 産業廃棄物分科会委員
	野城智也	東京大学生産技術研究所教授
	米谷秀子	(社)日本建設業団体連合会 建設副産物専門部会委員

今後のスケジュール(予定)

平成18年12月

社会資本整備審議会 環境部会 開催(12/20)
交通政策審議会 交通体系分科会 環境部会 開催(12/21)

小委員会の設置決定

平成19年1月

第1回 建設リサイクル推進施策検討小委員会(1/18)

平成19年3月

第2回 建設リサイクル推進施策検討小委員会(3/15)

小委員会を数回開催

平成19年12月頃

建設リサイクル推進施策検討小委員会 報告書取りまとめ

社会資本整備審議会 環境部会 開催
交通政策審議会 交通体系分科会 環境部会 開催

審議会として
報告書取りまとめ

平成20年3月頃

新たな建設リサイクル推進計画 策定(国土交通省)